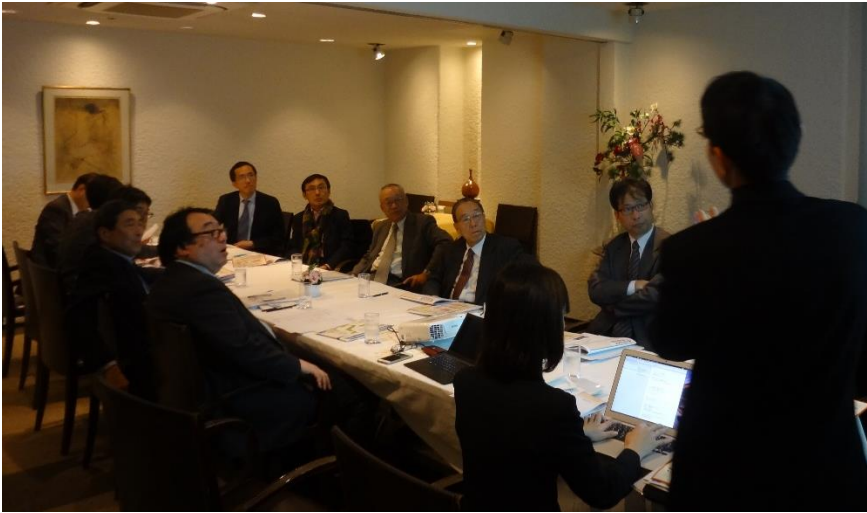




2016.01.12 定住外国人政策研究会第2ステージがスタート

さる11月16日内閣官房副長官を通じて提言書を提出した定住外国人政策研究会は、未来を創る財団が協賛してきたが、今回から未来を創る財団の活動としてスタートすることを全会一致で決定。國松孝次氏には引きつづき座長をお願いした。



まずゲストにお招きしたアスコエ代表の安井秀行氏から、目下開発、展開中のユニバーサルメニューについて説明。

ユニバーサルメニューとは、政府、自治体などの公的機関が提供するサービス情報を「誰もが探しやすく、分かりやすい言葉遣い・構成・表現とす

ること」を目指してアスコエが開発したWebサイト向け標準メニュー。災害・復興といった特定のテーマにしぼったメニューづくりも可能。

英文・中文もあり、来日・在日外国人への情報、地域活性化の各種情報など、未来を創る財団の主要テーマでも力強い味方になることが期待される。

未来を創る財団の第I期中期計画 プロジェクト(案)4対象領域

- ①「地域振興」地域社会・文化の発展
- ②「国際交流」海外との交流・共振
- ③「女性活躍」女性が活躍できる文化の構築



- ④「教育改革」自立・決断・責任の教育の実現

のうち②のテーマ国際交流を、当面の課題を定住外国人にしぼり、定住外国人政策研究会が中心になって提言研究活動を行うことを決定した。